

P-13. 海洋台帳の現状について

海洋情報課海洋空間情報室（発表者：吉川貴子）

「海洋台帳」とは？

- ◆誰もが「自由に・簡単に」海洋情報をインターネットで閲覧・利用できるシステム
- ◆海洋情報を一元的に収集し、広く提供を行うことを目的としてWebGISで公開

GIS : Geographic Information System
「地理情報システム」と呼ばれ、「場所」「位置」に関する情報（位置情報）を使い、様々な情報をまとめて地図や航空写真の上に重ね合わせるシステム

海洋台帳の概念図

海に関する様々な情報

- 表面水温
- 海流
- 海底地形
- 漁業区域
- 船舶通航量

海洋台帳の表示例

- 領海線
- 海底地形
- 水温プロファイル
- 漁業区域
- 港湾区域
- 航路
- 船舶通航量

学校教育
海洋調査・開発
レジャー

ユーザー自身の目的に応じ、データの取捨選択・重ね合わせが可能

計100項目を整備（平成26年3月10日現在）

特徴① 掲載情報(海洋統計データ)

- ◆JODC保有の海洋統計データ（水温データは過去50年（0mのみ100年））
- ◆統計データを緯経度や必要な属性情報を持つGISデータに変換
- ◆膨大なデータ量
 - 水温データ・・・約810万点
 - 塩分データ・・・約300万点
 - 海流データ・・・約900万点

データ表示の工夫

- ▶統計データを1度または15分毎のメッシュデータにして画像化し、鉛直方向に結合
- ▶時間軸を持つデータのアニメーション表示（水温・塩分、海流）

情報の共有化

- ▶メール送信機能

「メール」をクリック

閲覧者Aと同じ画面が開く

情報の共有化

メール記載のURLを開く
メール受信者B

閲覧画面の情報を記載したURLをメール送付

メーラー自動起動
閲覧者A（メール送信者）

機能の拡張・データの充実化

平成24年5月
一般公開

平成24年6月～8月
要望調査

要望を反映
平成24年10月～平成25年3月末
機能・データの充実

平成25年度以降
各種要望に応じ更なる発展へ

機能・データの充実①

- ◆船舶通航量の統計データの充実
 - ▶背景画像による提供 → 任意の地点の船舶、全長別の通航隻数表示が可能に
 - ▶掲載データが24ヵ月分（2010年1月～2011年12月）

機能・データの充実②

- ◆ユーザーが持つ独自データの読み込み、修正、保存機能を追加

海洋台帳に「自分が持つデータ」を重ねられます！

観測データ・所在データ

ユーザーが持つ独自データ

データの修正や追加後、エクセル、km1ファイルへの保存が可能に！

機能・データの充実③(26年度以降)

- ◆JavaScript言語による開発
 - ▶Flash Playerをインストールできないユーザーに配慮
- ◆モバイル・タブレット版の検討
 - ▶ユーザーの利便性UP

海洋台帳へのアクセス

海洋台帳

<http://www.kaiyoudaichou.go.jp/>

海洋台帳 検索